



宮川彬良 (客演指揮)

©石黒ミカコ

くらしき作陽大学 ウインド フィルハーモニー 特別演奏会



KURASHIKI SAKUYO UNIVERSITY

WIND PHILHARMONY



長瀬敏和
(指揮)

2/11 2019

(月・祝)

13:15開場 14:00開演

藤花楽堂

くらしき作陽大学
作陽音楽短期大学内

入場料 ■ 一般2,500円 大学生1,000円
高校生以下500円(当日各500円増)
(全席自由) ※未就学児入場不可

プログラム

【第1部】指揮：長瀬敏和
オリエント急行 / P.スパーク
ウィークエンド・イン・ニューヨーク / P.スパーク ほか

【第2部】指揮：宮川彬良
現代吹奏画報 / 宮川彬良
カービィ★マーチ / 宮川彬良
NHK連続テレビ小説「ひよっこ」から
シンフォニック「ひよっこ」 / 宮川彬良 ほか

※都合により曲目が変更になる場合がございます。

□主催：くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学
□後援：倉敷市教育委員会、総社市、総社市教育委員会、公益財団法人倉敷市文化振興財団、岡山県吹奏楽連盟、
山陽新聞社、RSK山陽放送、倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送、くらしき作陽大学同窓会鶴声会、
作陽短期大学・作陽音楽短期大学同窓会翠会

□チケット予約・お問合せ先：くらしき作陽大学演奏芸術センター Tel086-523-0822



くらしき作陽大学ウインド・フィルハーモニー KURASHIKI SAKUYO UNIVERSITY WIND PHILHARMONY

くらしき作陽大学ウインド・フィルハーモニーは、くらしき作陽大学および作陽音楽短期大学の管打楽器専攻生を中心に構成され、より優れた音楽芸術を追求し、可能な限り信頼できる演奏を目指して全力を注いでいます。その意欲的な演奏は技術的にも音楽的にも着実な発展を続け、演奏活動は地元の岡山県はもとより、中国、四国、九州各方面におよび、高い評価を得ています。2005年にアメリカ演奏旅行を行い、カーセイジ大学、インディアナ大学、イーストマン音楽院やカーネギーホール（ニューヨーク）に於いて演奏会を開催し好評を博しました。近年は、作曲家・舞台音楽家の宮川彬良氏を客演指揮者に迎え、吹奏楽の新しい魅力を披露するなど、多彩な活動を続けています。卒業生は、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、オオサカ・シオン・ウインドオーケストラのほか、自衛隊音楽隊や警察音楽隊など多くの楽団で活躍しています。



作曲家、舞台音楽家 宮川 彬良

1961年2月18日、東京生まれ。

東京藝術大学在学中より劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽を担当。その後、数多くのミュージカルなどを手掛け、舞台音楽家として活躍。代表作に「ONE MAN'S DREAM」「身毒丸」「シャンポーの森で眠る」「ミラクル」「ハムレット」「マクベス」「家なき子」「血の起源」「星の王子さま」「ルビチ」「ザ・ヒットパレード」「ムサシ」「欲望という名の電車」など。1996年「身毒丸」で第4回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞、2000年「ミラクル」で東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞を受賞。2005年「ハムレット」（再演）で第12回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞。2004年には、松平健のショーのために作曲した「マツケンサンバⅡ」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。

一方で演奏活動もめざましく、1995～2010年には大阪フィル・ポップス・コンサートの音楽監督・常任指揮者、1998年～「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」の音楽監督、2014年～大阪市音楽団の音楽監督を務めている。また、自ら企画した「コンチェルトタンテⅡ 宮川彬良vs新日本フィルハーモニー交響楽団」、大阪市音楽団との吹奏楽ショー「宮川彬良&大阪市音楽Dahhhhn!」、サクソ奏者・平原まこととの「アキラさんとまこと君ふたりのオーケストラ」、歌手・岡崎裕美との「未来の音楽授業！アキラ塾」、自作の舞台音楽を演奏する「宮川彬良 心deパレエ」などを中心に、日本全国でコンサートを行っている。自身で、作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説を行いながら進めるコンサートは、誰もが楽しめ親しみやすいと定評がある。

2003～2010年NHK Eテレ「クインテット」、2009～2010年NHK BS2「どれみふぁワンダーランド」、2011～2012年NHK BSプレミアム「宮川彬良のショータイム」の音楽を担当、出演。2012年～アニメ「宇宙戦艦ヤマト2199」の音楽を手掛けている。舞台、コンサート、テレビ、ラジオなど、多岐に渡るジャンルで活躍している。

サクソフォン 長瀬 敏和

作陽音楽大学（現くらしき作陽大学）、同大学専攻科を修了。読売新人演奏会、日演連推薦新人演奏会に出演。日本管打楽器コンクール、宝塚ベガ音楽コンクールに入選。大阪市音楽団（現オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ）のコンサートマスターとして、日本の吹奏楽を先導してきた。現在は母校で教育に力を注いでおり、学生の進路に合わせた教育系・演奏系吹奏楽授業の展開、客演指揮者に宮川彬良氏を迎えるなど、新たな風を送り続けている。CD「クローバーリーフ・スイート」（FOCD9624）が、「レコード芸術」誌のレコード・アカデミー賞にノミネートされた。2018年クロアチアで行われた「第18回世界サクソフォン・コンGRESS」に参加。2021年の開催地に倉敷から立候補し、最終日のプレゼンテーションにて当選。「第19回世界サクソフォン・コンGRESS in 倉敷2021」では、世界のサクソフォン奏者や教育者、研究者を迎えるホストを務める。

現在、くらしき作陽大学音楽学部、同大学院教授。日本サクソフォン協会運営委員、同大阪支部長。国際サクソフォン評議委員会委員。

